

事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和6年3月31日

事業所名：A B U W春日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		広さの違う部屋があり、用途によって使い分けが可能です。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		2部制で行っているため、一回の利用児を少なくできるため、手厚い支援が可能です。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		絵などを用いて何をすべきか視覚的にわかりやすいよう工夫しています。午前の療育はパーテーションを用いて導線を作り、準備の流れがわかりやすいよう工夫しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎朝玄関前や窓の清掃を行い、午前、午後ともに療育が終わると清掃を実施しています。危険な場所や破損している箇所もないか常に気を配って注意しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		スタッフルームにてミーティングがいつでもできる環境が整備されています。ランチミーティングなど曜日ごとに機会を設けています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		その結果は各店舗で目を通す作業を実施しており、支援内容に改善に繋げています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページにて結果を公表しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		当事業所は努力義務のため、現在のところ実施していません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部講師を招いたり、社内研修を実施しています。	
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		外部講師の研修で症例検討を実施し、さらにアセスメントを深めています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		現在、評価表を制作中。標準化されたアセスメントツールの使用は行っていないが、行動観察や保護者、園の先生からの聞き取りなどにより児童の状態を把握し支援しています。	

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		園との連携を密に行っていくと送迎時、訪問、電話にて連携を図り、目標設定を行っています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画がいつでも可視化できるように、実施記録のフォーマットに書き込み支援方法とともにチェックできるようにしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		支援計画の目標がいつでも確認できるよう、記録のフォーマットに記載されており、誰が担当しても介入目標がぶれないようにしています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		活動実施前後にスタッフ間で話し合いながら、その日の利用児童に合わせた活動ができるようにしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個別活動で行っていることが集団の場で反映されるよう意見を出し合っています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼を行い当日の役割の確認、連絡事項の共有を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終礼を行い、当日の振り返り、翌日の役割分担、連絡事項の共有を行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		活動が終わると、一人ひとり活動の記録を書き、全体で共有できるようにしています。また、毎回保護者への活動内容の報告、児童の様子などを連絡帳でお伝えしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管が担当者会議に出席し、主に療育を行っているスタッフと情報共有をおこなっています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		利用時の連絡帳での報告、送迎・お迎え時の情報共有を必ず実施しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—		対象のお子様がこれまでにありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—		対象のお子様がこれまでにありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		送迎時に園での様子や困りごとなどの情報交換を行っています。	

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		実施したことはすぐに保護者や相談支援員に連絡しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		地域関係事業所や医療機関等との情報共有や連携を図っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		公園や屋外イベントを通じて接する機会があります。	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		地域の障がい者ネットワーク会議に定期的に参加を行っています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳での報告、送迎・お迎え時の情報共有を必ず実施しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		休日にイベントとしてペアレントトレーニング、親子療育を実施しています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		口頭で付け加えながら説明実施しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		直接的な相談やSNSを通しての相談にはその都度対応しています。連絡帳でのやり取りや、送迎時にこまめに悩み事などの情報共有、助言を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		親子イベント時、スタッフと保護者だけの時間があり、そこで保護者同士の交流を設けています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		連絡帳を利用した概要等説明や行事等のお知らせを行っています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		連絡帳や電話にて関係性が築けている関係機関を通しての連絡を実施しています。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			機会を設けていません。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練を必要に応じて実施しています。		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に確認し、漏れがないように、ヒアリングシートにチェック欄を設けています。		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	—		対象のお子様がこれまでにいません。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事案が生じた場合、起こったその日に他店舗でも終礼にて周知しています。		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		契約時に説明し、契約書や重要事項説明書に署名をいただいています。		